

I. 2024 年度（第 49 期）の概要

○ 事業関係

- 研究奨励金、海外留学助成金及び若手研究支援交付対象者は、選考委員会で厳正な審査の上、候補者を選考し、第 2 回理事会(2024 年 11 月 12 日)で決定した。研究奨励金、海外留学助成金及び若手研究支援の交付対象者には、贈呈証書を授与するとともに研究奨励金等を交付した。
- 研究奨励金については、前年度(2023 年度)から増額・増枠を行い、「小児領域臨床薬理」を対象とした臨床研究枠を設置している。また、海外留学助成金についても、昨今の物価高、円安の影響等から為替変動分を考慮し、前年度より交付金額を 350 万円×2 年から 750 万円×2 年に増額している。
- さらに、2023 年度に新設された若手研究支援については、対象者に対して 2 年間の支援の 2 年目分となる交付金(50 万円)を支給した。
- 臨床薬理研究振興財団賞(以下「財団賞」という。)交付対象者は、第 2 回財団賞選考委員会(2024 年 9 月 16 日)で厳正な審査の上、候補者を選考し、日本臨床薬理学会理事会で決定、当財団第 2 回理事会で承認した。第 45 回日本臨床薬理学会学術総会の会期中に財団賞を授与し、学術奨励賞及び学術論文賞を交付した。
- 研究報告集「臨床薬理の進歩」No. 45 を発刊した(2024 年 6 月 20 日)。併せてデジタルブックとして、財団 HP に掲載した。
- 第 17 回研究報告会を、研究大賞受賞者(5 名)、海外留学助成金受給者(3 名)を演者とし開催した(2024 年 11 月 12 日)。
- 第 8 回(2024 年度)臨床薬理学集中講座(2024 年 7-9 月)も Web 開催で実施した(51 名が参加)。第 8 回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナーについては、第 45 回日本臨床薬理学会学術総会のプログラムの一環として開催した(2024 年 12 月 13 日)。
- 財団設立 50 周年記念事業実施に向け、財団設立 50 周年記念事業検討委員会による検討会が開催された(第 4 回:2024 年 4 月 25 日、第 5 回:2024 年 10 月 31 日、第 6 回:2025 年 1 月 30 日)。

○ 人事関係

- 理事 9 名の任期満了に伴い、6 名が重任、3 名が退任した。新たな 4 名が理事に就任し、重任理事、新任理事に関して、定時評議員会(2024 年 6 月 11 日)にて承認された。
(敬称略 50 音順)
重任理事(6 名) 家人 一郎、大津 敦、大戸 茂弘、藤村 昭夫、矢部 千尋、渡邊 裕司
新任理事(4 名) 五十嵐 隆、上村 尚人、楠原 洋之、志賀 剛
退任理事(3 名) 大内 尉義、戸塚 恭一、齋 寿明

○ 決算関係

- 2024 年度寄附金として、第一三共株式会社から、2 億円を受領した(2024 年 4 月 10 日)。
- なお、2025 年度寄付金前受け金として、1 千万円を受領した(2025 年 3 月 25 日)。
- 前年度の 2023 年度(第 48 期)決算内容については、監事の監査を受けるとともに、第 1 回理事会(2024 年 5 月 17 日)及び定時評議員会(2024 年 6 月 11 日)に付議し、承認された。

II. 2024 年度（第 49 期）事業報告

2023 年度 第 3 回理事会(2024 年 2 月 9 日)の決定に基づき、以下の事業を実施した。

1. 2024 年度(第 49 回)研究奨励金等の交付（定款 第 4 条第 1 項第 1 号、第 2 号）

(1) 研究奨励金

◆募集内容

- ・ 募集研究分野：臨床薬理研究
- ・ 募集件数（公募） 27件程度
- ・ 交付金額 27件 各300万円
- ・ 募集期間 2024年6月13日～8月30日
- ・ 応募件数（研究奨励金） 99件

◆選考経過

- ・ 第1回選考委員会開催（募集方法等の審議） 2024年5月29日
- ・ 選考委員による申請書の評価 2024年9月4日～10月1日
- ・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 2024年10月22日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・ 2024年度第2回理事会にて決定 2024年11月12日
- ・ 決定通知完了 2024年11月14日
- ・ 交付対象件数 27件、附属明細書-1に掲載
- ・ 交付金額 8,100万円（各300万円）
- ・ 贈呈証書授与完了 2025年1月17日
- ・ 交付完了 2025年3月21日

(2) 海外留学助成金

◆募集内容

- ・ 募集人数（公募） 2名以内
- ・ 交付金額 2件 各750万円/年、原則2年間交付
- ・ 募集期間 2024年6月13日～8月30日
- ・ 応募件数 28件

◆選考経過

- ・ 第1回選考委員会開催（募集方法等の審議） 2024年5月29日
- ・ 選考委員による申請書の評価 2024年9月4日～10月1日
- ・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 2024年10月22日
- ・ 交付対象者候補の面接実施 2024年10月28日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・ 2024年度第2回理事会にて決定 2024年11月12日
- ・ 決定通知完了 2024年11月14日
- ・ 交付対象者 2名、附属明細書-1に掲載
- ・ 交付金額 1,500万円（各750万円）
- ・ 贈呈証書授与完了 2024年12月10日
- ・ 交付完了 2025年1月20日

(3) 若手研究支援

◆募集内容

- ・ 募集研究分野：臨床薬理研究
- ・ 募集件数（公募） 6件程度
- ・ 交付金額 6件 各50万円/年、原則2年間交付

・募集期間	2024年6月13日～8月30日
・応募件数	49件
◆選考経過	
・第1回選考委員会開催（募集方法等の審議）	2024年5月29日
・選考委員による申請書の評価	2024年9月4日～10月1日
・第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考）	2024年10月22日
◆交付対象者の決定、通知及び交付	
・2024年度第2回理事会にて決定	2024年11月12日
・決定通知完了	2024年11月14日
・交付対象件数	6件、附属明細書-1に掲載
・交付金額	300万円（各50万円）
・贈呈証書授与完了	2024年12月26日
・交付完了	2025年2月10日

2. 臨床薬理研究振興財団賞の贈呈（定款 第4条第1項第1号、第3号）

日本臨床薬理学会に設置された選考委員会に選考を委任し、臨床薬理研究振興財団賞を次のとおり交付した。

(1) 第35回(2024年度)臨床薬理研究振興財団賞

◆募集内容							
・募集件数	<table> <tr> <td>学術奨励賞</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>学術論文賞</td> <td>3件</td> </tr> </table>	学術奨励賞	2件	学術論文賞	3件		
学術奨励賞	2件						
学術論文賞	3件						
・募集期間	2024年4月1日～6月14日						
・応募件数	<table> <tr> <td>学術奨励賞</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>学術論文賞A</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>学術論文賞B</td> <td>26件</td> </tr> </table>	学術奨励賞	5件	学術論文賞A	10件	学術論文賞B	26件
学術奨励賞	5件						
学術論文賞A	10件						
学術論文賞B	26件						
◆選考経過							
・第1回選考委員会開催（募集方法等の審議）	2024年3月4日						
・選考委員による申請書の評価	2024年7月24日～8月16日						
・第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考）	2024年9月19日						
◆交付対象者の決定、授与式及び交付							
・日本臨床薬理学会理事会にて決定（メール回付審議）	2024年10月16日						
・2024年度第2回理事会にて承認	2024年11月12日						
・交付対象件数	5件、附属明細書-2に掲載						
・交付金額	<table> <tr> <td>学術奨励賞 2件</td> <td>600万円（各300万円）</td> </tr> <tr> <td>学術論文賞 3件</td> <td>150万円（各50万円）</td> </tr> </table>	学術奨励賞 2件	600万円（各300万円）	学術論文賞 3件	150万円（各50万円）		
学術奨励賞 2件	600万円（各300万円）						
学術論文賞 3件	150万円（各50万円）						
・授与式（第45回日本臨床薬理学会学術総会（大宮））	2024年12月13日						
・交付完了	2025年2月10日						

3. 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊（定款 第4条第1項第5号）

(1) No. 45の編集・発刊

2024年4月6日に編集会議を開催し、次のとおり実施した。

・掲載論文 附属明細書-3に掲載

研究奨励金交付論文（2021年度）	18編
研究奨励金交付論文（2020年度）	1編
海外留学助成金報告	1編
計	20編

・発刊日 2024年6月20日

・配布先

大学医学部長、医科大学長、大学院研究科長など	76冊
大学薬/歯学部長、薬科大学長、大学研究所長など	79冊
大学医学系、薬学系主要講座など	688冊
附属病院長その他主要病院長	344冊
大学小児科教授、大学本院薬剤部長	168冊
財団役員、評議員、選考委員 他	48冊
交付者	20冊
図書館	42冊
その他助成財団、会社関係他	100冊
計	1,565冊

(2) No. 46の発刊準備

・掲載論文（予定）

研究奨励金交付論文（2022年度）	12編
研究奨励金交付論文（2021年度）	1編
研究奨励金交付論文（2020年度）	2編
海外留学助成金報告	2編
計	17編

・発刊予定年月 2025年6月

4. 研究報告会の開催（定款 第4条第1項第5号）

臨床薬理研究振興財団研究大賞（以下「研究大賞」という）受賞者等による第17回臨床薬理研究振興財団研究報告会（以下「研究報告会」という）を次のとおり実施した。

（敬称略）

- ・日時 : 2024年11月12日（火）15時30分～19時30分
- ・開催会場 : 経団連会館 ダイアモンドルーム
- ・参加者 : 70名
- ・プログラム : 附属明細書-4に掲載

〈第1部〉 研究大賞表彰式

挨拶	理事長	平島 昭司
選考経過報告	編集委員	乾 直輝
表彰式	研究大賞受賞者	

〈第2部〉 研究報告会 座長

理事 大戸 茂弘

理事 松本 直樹

演者 研究大賞受賞者 5名

海外留学助成金受給者 3名

閉会にあたって 評議員 乾 賢一

【研究報告会】研究大賞の受賞者表彰と研究成果発表、及び海外留学修了者の研究報告の会で、今後の臨床薬理学の発展や臨床薬理研究者の育成に貢献することを目的に2008年度から実施している。

【研究大賞】当財団が交付した研究奨励金を用いて研究が実施され、その後、研究の成果として研究報告集「臨床薬理の進歩」に掲載された論文の中から、特に優秀で今後の発展が期待されるものを選び表彰するものである。

5. 臨床薬理学集中講座の開講（定款 第4条第1項第4号）

2024年度の臨床薬理学集中講座（以下「集中講座」という。）を以下のとおりWEBにて開催した。

本集中講座の一環として、第45回日本臨床薬理学会学術総会のプログラムの中で第8回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナー（以下「フォローアップ・セミナー」という。）に組み入れていただき、当財団主催にて、2024年12月13日に開催した。本集中講座は、若手医師・薬剤師等が臨床薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を実践し、臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信ができる医療従事者・研究者の育成を趣旨とする。

集中講座を企画・運営するために、下記の臨床薬理学集中講座実行委員会、及び臨床試験企画立案演習チーム会を開催した。また、集中講座企画立案演習開催日までにWeb会（受講者間のリレーション構築のためのミーティング）を2回実施した。

臨床薬理学集中講座実行委員会

- 1) 開催日： 2024年5月17日
議 事： 第8回集中講座の受講者決定、
第8回フォローアップ・セミナー準備状況の確認
- 2) 開催日： 2024年11月12日
議 事： 第8回集中講座の結果報告
第8回フォローアップ・セミナー準備状況の確認
- 3) 開催日： 2025年2月14日
議 事： 第9回集中講座の募集要項・開催方法・講義内容等決定
第8回フォローアップ・セミナー開催報告

臨床試験企画立案演習チーム会

- 1) 開催日： 2024年5月14日
議 事： 募集状況報告、受講生班編成、第8回プログラム検討等
- 2) 開催日： 2024年6月18日
議 事： 2023年度集中講座のアンケート結果、開催準備状況報告等
- 3) 開催日： 2024年7月9日
議 事： 第1回WEB会について、患者同意説明文書の検討等

Web会（受講者間のリレーション構築のためのミーティング）

- 1) 開催日： 2024年7月26日
内 容： 班ごとに自己紹介、「患者同意説明文書」作成等
- 2) 開催日： 2024年7月31日
内 容： 作成した「患者同意説明文書」の発表、企画立案演習課題の説明等

臨床試験企画立案演習

- 開催日： 2024年9月1日
内 容： 臨床試験企画立案演習(Web会議)

第8回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナーの概要：附属明細書-5に掲載

6. 附属明細書

【附属明細書-1】

2024年度（第49回）研究奨励金、海外留学助成金及び若手研究支援交付対象者

◆研究奨励金 27件（1件 300万円）

（敬称略 50音順）

氏名	所属機関	研究テーマ
☆赤羽 裕一	旭川医科大学 小児科学講座	神経突起伸長作用を有する既承認薬を用いたレット症候群の治療薬開発
☆安藤 史顕	東京科学大学(東京医科歯科大学)大学院医歯学総合研究科	LRBA 欠損症の病態論の確立と治療法開発
☆石森 真吾	高槻病院 臨床研究センター	レニンアンジオテンシン系に着目した早産、低出生体重児の腎障害進展機序の解明研究
板橋 耕太	国立がん研究センター 先端医療開発センター	腫瘍所属リンパ節の免疫応答を高める新規医薬品の開発
内田 康雄	広島大学大学院医系科学研究科	アルツハイマー病の脳血管異常に対する治療基盤の構築
大隅 寛木	がん研究会 有明病院 消化器化学療法科	Neo RAS 野生型 切除不能・進行再発大腸癌の発生メカニズムの解明
片山 勇輝	京都府立医科大学大学院 医学研究科	腸内細菌叢と免疫微小環境のクロストークから紐解く 肺癌免疫療法の革新的バイオマーカーの開発
加藤 秀雄	三重大学医学部附属病院 薬剤部	アゾール系抗真菌薬による幻視の発現機序の解明
川尻 雄大	九州大学大学院 薬学研究院 臨床育薬学分野	プラチナ系抗悪性腫瘍薬アレルギーに対するプロトンポンプ阻害薬の予防効果に関する基礎・臨床・データベース解析融合型研究
川筋 仁史	富山大学 学術研究部医学系 感染症学講座	唾液中薬物濃度モニタリング (STDM) の確立による抗微生物薬個別化投与の新展開
北嶋 俊輔	がん研究会 がん研究所 細胞生物部	エリブリン投与に伴う抗腫瘍免疫活性化の分子機序を基盤とした奏効マーカーの確立
合田 光寛	徳島大学 大学院 医歯薬学研究部 臨床薬理学分野	シスプラチン誘発腎機能障害の根本原因にアプローチする新たな予防戦略の開発
坂本 悠記	日本医科大学付属病院 脳神経内科	超急性期単一穿通枝脳梗塞に対する組織プラスミノゲン アクチベータと抗血小板剤 2 剤療法とを比較する多施設共同ランダム化比較研究
高崎 祐介	順天堂大学医学部附属 順天堂医院 消化器内科	ゲムシタビン+ナブパクリタキセルを用いた膵がん治療におけるEOB-MRIによる薬物動態・副作用予測モデルについての検討
田中 信帆	相模原病院 臨床研究センター	関節内のフィブリン形成阻害による変形性膝関節症の進行抑止法開発の試み
☆田中 遼大	大分大学医学部附属病院 薬剤部	小児発熱性好中球減少症患者における広域抗菌薬の至適投与方法の開発
☆丹沢 彩乃	国立成育医療研究センター 薬剤部	新生児および乳児におけるジアゾキシドの母集団薬物動態解析および至適投与設計
鍋倉 宰	愛知県がんセンター 研究所	次世代ナチュラルキラー細胞療法の開発に向けた基盤技術の構築
鳴海 克哉	北海道大学 大学院薬学研究院 臨床薬剤学研究室	シクロホスファミド誘発性心毒性におけるアルデヒドオキシダーゼの寄与と新規予防戦略への展開
星 裕太	国立がん研究センター東病院 頭頸部内科	再発/転移嗅神経芽細胞腫に対するニボルマブ単剤療法の有効性と安全性を検証する第II相臨床試験
増田 作栄	湘南鎌倉総合病院 臨床研究センター	急性胆管炎に対する抗菌薬短期投与に関する多施設共同 非盲検ランダム化第III相試験
三上 龍生	北海道大学病院薬剤部	ヘパリンモニタリング下における活性化部分トロンボプラスチン時間と抗活性化第X因子活性の不一致に腎機能低下が及ぼす影響の解明
村岡 真輔	名古屋大学医学部附属病院 脳神経外科	脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血後の脳血管攣縮に対するファスジルとクラゾセンタンの有効性・安全性の比較
山元 良	慶應義塾大学 医学部救急医学	外傷性脳損傷に対するペランパネルの神経保護作用を期待した drug repositioning：第二相多施設共同ランダム化比較試験
吉川 直樹	宮崎大学医学部附属病院 薬剤部	免疫抑制薬の新規薬効制御理論に基づく革新的個別化治療の構築

吉田 遼平	旭川医科大学 医学部内科学講座	KRAS G12C 変異陽性非小細胞肺癌に対するソトラシブの血中モニタリングによる有効性と安全性の最適化
☆渡邊 拓史	日本大学 医学部 小児科学系小児科学分野	小児がん治療関連心機能障害における遺伝子多型の影響

☆：小児臨床薬理研究に対する助成（他は臨床薬理研究）

◆海外留学助成金 2 件（1 件 750 万円/年）

（敬称略 50 音順）

氏名	所属機関	留学施設名(国名)	期間	研究テーマ
三谷 智樹	大阪大学大学院 医学系研究科	米国グラッドストーン 研究所	2 年	血液脳関門を起点とした早期バイオ マーカー探索
吉門 崇	横浜薬科大学薬学部 臨床薬理学研究室	英国マンチェスター 大学	2 年	薬物/内因性化合物の生理学的速度 論モデルに基づいた薬物相互作用/ 薬効予測モデルの確立

◆若手研究支援 6 件（1 件 50 万円/年）

（敬称略 50 音順）

氏名	所属機関	研究テーマ
梅村 圭祐	京都大学医学部附属病院 薬剤部	有効かつ安全な個別化抗菌薬吸入療法の確立を目指した 薬物動態学/薬力学的研究
大川 貴也	藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学講座	直接経口抗凝固薬（DOAC）血中濃度測定による最適な DOAC 中和剤投与方法の検討
木下 真直	山梨大学 医学部皮膚科学講 座	Neutrophil extracellular traps を標的とした Stevens-Johnson 症 候群/中毒性表皮壊死症の治療機序解明と新規治療の創出
杉山 恭平	静岡県立大学 薬学部	シスタチン C による腎機能評価と HPLC 定量分析を用いたセフェピム 脳症リスク低減型 PK/PD モデルの構築
松本 准	岡山大学学術研究院 医歯薬学域（薬学系）	「腎」での薬物代謝を主軸とした薬剤性腎障害発生の個人差を規定す る機序の解明
吉田 賢明	九州大学病院 循環器内科	肺動脈性肺高血圧症の肺血管閉塞病変におけるナトリウムグルコース 共輸送体 2 の役割の解明

【附属明細書-2】

第 35 回 (2024 年度) 臨床薬理研究振興財団賞

(学術奨励賞 2 件: 600 万円 (各 300 万円)、学術論文賞 3 件: 150 万円 (各 50 万円)) (敬称略)

	氏 名	所属機関	研究テーマ・受賞論文タイトル (掲載誌)
学術奨励賞	山本 和宏	岡山大学病院 学術研究院医歯薬学域 (薬学系)	腎機能障害患者におけるがん薬物療法の新規用量設計法の確立に向けた生理学的薬物動態モデル&シミュレーションとビッグデータの統合解析
	石澤 有紀	倚山会田岡病院 総合診療科	性差を考慮した薬物有害事象マネジメントの確立に向けたデータ駆動型臨床薬理学研究
学術論文賞	山内 祐子	琉球大学医学部附属病院 臨床研究支援センター	Comparison of the Quality of Phase III Non-commercial Clinical Trials in Japan, the United States, and the United Kingdom before the Implementation of the New Japanese Clinical Trials Act Jpn J Clin Pharmacology Ther 2023;54(3) 95-101
	小金丸 茂博	国立がん研究センター 東病院 先端医療科	Quantitative Analysis of the Concentration of Trifluridine in Tumor Hypoxic Regions Using a Novel Platform Combining Functional Endoscopy and Mass Spectrometry Clinical pharmacology & therapeutics Vol.115 number1 January 2024
	島本 裕子	国立循環器病研究センター 薬剤部	Model-Informed Vancomycin Dosing Optimization to Address Delayed Renal Maturation in Infants and Young Children with Critical Congenital Heart Disease Clinical pharmacology & therapeutics Vol.115 number2 February 2024

【附属明細書-3】
研究報告集「臨床薬理の進歩」No.45 掲載論文

2021年度 研究奨励金交付論文 17編

(敬称略 50音順)

氏名	所属機関	論文名
松金 良祐	九州大学病院 薬剤部	進行期膀胱癌患者におけるがん悪液質治療薬アナモレリンの前向き観察研究
牛島 健太郎	自治医科大学医学部 薬理学講座 臨床薬理学部門、山陽小野田市立 山口東京理科大学 薬学部	小児生体肝移植後の急性拒絶反応を抑制するためのメチルプレドニゾロンの時間治療
野田 哲史	立命館大学薬学部医療薬学1、 滋賀医科大学医学部医学科薬物治療学講座	カボザンチニブの薬物動態に基づく個別化投与法の確立
柴田 海斗	信州大学医学部附属病院薬剤部 (元：浜松医科大学医学部附属病院薬剤部)	関節リウマチ患者におけるトシリズマブの血中動態と血清FcRn結合タンパク質及び可溶性IL-6受容体との関係解析
林 久允	東京大学大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室	小児肝臓難病の救命に資する肝保護療法薬の開発
吉田 康将	名古屋大学大学院医学系研究科	子宮平滑筋肉腫に対するマルチオミクス解析による新たな治療標的の探索
熊谷 尚悟	国立がん研究センター 先端医療 開発センター 免疫トランスレー ショナルリサーチ分野	CD8陽性T細胞と制御性T細胞のバランスに着眼した新規がん免疫治療戦略への応用
長谷川 久紀	東京医科歯科大学医学部附属病院 膠原病・リウマチ内科	多発性筋炎/皮膚筋炎患者の免疫細胞プロファイル解析による治療奏効群と治療抵抗性群の特徴的な免疫フェノタイプの抽出と治療への応用
豊原 敬文	東北大学病院腎臓・高血圧内科	腸内細菌に着目した慢性腎臓病の動脈硬化に対する新規治療法の開発
谷 英明	慶應義塾大学病院医学部精神・ 神経科学教室	治療抵抗性うつ病の神経基盤の解明
津野 宏隆	独立行政法人国立病院機構相模原 病院 リウマチ内科、独立行政法人 国立病院機構相模原病院 臨床 研究センター	変形性膝関節症において滑膜病変に伴い関節液中にウロキナーゼが増加する機序の解明
國政 啓	大阪国際がんセンター 呼吸器内科	肺癌におけるPD-1阻害剤治療における網羅的ゲノムバイオマーカー探索研究
曳野 圭子	理化学研究所生命医科学 研究センター ファーマコゲノミ クス研究チーム	リツキシマブによる重症低ガンマグロブリン血症・無顆粒球症に関連する遺伝子の探索と予測モデルの構築
木瀬 康人	大阪大学大学院 医学系研究科 産科学婦人科学	患者由来腫瘍移植マウスモデルを用いた婦人科希少がんである中腎様癌の個別化医療開発
若井 恵里	大阪大学大学院医学系研究科統合 薬理学 (元：三重大学大学院医学系研究 科統合薬理学)	多層のアプローチを用いた薬剤性肝障害に対する新規保護薬の探索
西田 翔	自治医科大学 薬理学講座 臨床薬 理学部門、自治医科大学 腎泌尿 器外科学講座 腎臓外科学部門	メタボローム解析によるタクロリムス腎症における組織内カルニチン代謝変化の同定
立川 正憲	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 (薬学域) 創薬理論化学分野	胎盤分泌エクソソームの輸送体発現情報に基づく胎盤閉門薬物輸送機能予測法の基盤構築
秋好 健志	慶應義塾大学 医学部 病院薬剤 学教室	低頻度バリエーション保有者における薬物相互作用リスクの予測精度を改善するためのin vitro & in silico研究

2020年度 研究奨励金交付論文 1編

氏名	所属	論文名
吉倉 延亮	岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野	小脳性運動失調症における自己免疫病態の解明と治療法の 確立に向けたアプローチ

海外留学助成金報告 1編

氏名	所属	論文名
知念 良昭	中外製薬株式会社トランスレー ショナルリサーチ部門 (元：京都府立医科大学附属 病院 血液内科)	アルバート・アインシュタイン医科大学留学報告

第17回研究報告会

日時：2024年11月12日（火） 15:30～19:30

場所：経団連会館（東京都千代田区大手町1丁目3-2）

第1部 臨床薬理研究振興財団 研究大賞表彰式（15:30～16:00）

挨拶	理事長	平島 昭司
選考経過 報告	浜松医科大学医学部 臨床薬理学講座 教授 （編集委員）	乾 直輝 先生
表彰式	研究大賞受賞者	

第2部 研究報告会（16:00～18:10）

【研究報告・留学報告】

座長	九州大学 名誉教授 特命教授（理事）	大戸 茂弘 先生
	聖マリアンナ医科大学 薬理学 主任教授（理事）	松本 直樹 先生
小児生体肝移植後の急性拒絶反応を抑制するためのメチルプレドニゾロンの時間治療	山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部 薬剤学・製剤学分野	牛島 健太郎 先生
小児肝臓難病の救命に資する肝保護療法薬の開発	東京大学大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室	林 久允 先生
進行期膵癌患者におけるがん悪液質治療薬アナモレリンの前向き観察研究	九州大学病院 薬剤部	松金 良祐 先生
シンシナティ小児病院医療センター留学報告（米国）	大分大学医学部附属病院 薬剤部	田中 遼大 先生
患者由来腫瘍移植マウスモデルを用いた婦人科希少がんである中腎様癌の個別化医療開発	大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学	木瀬 康人 先生
子宮平滑筋肉腫に対するマルチオミクス解析による新たな治療標的の探索	名古屋大学大学院医学系研究科	吉田 康将 先生
アルバート・アインシュタイン医科大学留学報告（米国）	中外製薬株式会社トランスレーショナルリサーチ部門 （元：京都府立医科大学付属病院 血液内科）	知念 良顕 先生
トロント大学付属依存症・精神保健センター留学報告（カナダ）	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室	吉田 和生 先生

【まとめ・講評】

	京都大学 名誉教授（評議員）	乾 賢一 先生
	京都薬科大学 名誉教授	

第3部 情報交換会（18:20～19:30）

【出捐者代表挨拶】 第一三共株式会社代表取締役会長兼 CEO 眞鍋 淳 様

【乾杯】 日本臨床薬理学会 理事長 植田 真一郎 先生

【附属明細書-5】

第8回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナー(2024年12月13日 大宮)

座長：乾 直輝 先生 (浜松医科大学 臨床薬理学講座)

- ・ Pharmacometrics (PMx) チームの立ち上げ

島津 裕 先生 (京都大学医学部附属病院 次世代医療・iPS細胞治療研究センター)

※当日、体調不良のため欠席(演題取消)

- ・ 臨床薬理学集中講座で構築したネットワークで実践するポリファーマシーに関する多施設共同研究

鈴木 啓介 先生 (国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター)

- ・ 多施設共同研究における研究事務局の役割

平島 学 先生 (独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター)

- ・ 臨床薬理学集中講座参加者による多施設共同研究の取り組み

武智 研志 先生 (松山大学薬学部 医薬情報解析学研究室)

- ・ 集中講座の紹介

臨床薬理研究振興財団